

別記様式第 2 号

平成 3 1 年 3 月 2 9 日

行政視察報告書	(会派の場合) 会派の名称	日本共産党	
	代表者氏名	近藤 昇一	㊟
	(会派以外の場合) 議員氏名		㊟
参加議員	近藤昇一	議員	議員
		議員	議員
		議員	議員
		議員	議員
視 察 先	(1) 京都府 与謝郡 伊根町		
	(2)		
	(3)		
視察目的 (項目)	(1) 伊根町ジビエ会有限責任事業組合の解体処理施設「やまくじら」		
	(2)		
	(3)		
【調査内容・概要】			
<p>京都府与謝郡伊根町は、丹後半島の北東部に位置し、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている舟屋で国内外にも知られ、毎年 30 万人近い観光客が訪れる町で、人口は 22,000 ほどです。</p> <p>今回、伊根町ジビエ会有限責任事業組合の解体処理施設「やまくじら」を視察してきました。</p> <p>伊根町では、丹波篠山からイノシシの北上があり、平成 14 年ごろから年間 400 万円の農業被害が発生しています。</p> <p>しかし、銃を使用した狩猟目的の狩猟者の減少などで、対策が進まなかったため、「研究会」をたちあげ、これまで捕獲したイノシシは自家消費か埋設していたものを活用できないか。また、狩猟免許取得者以外の人たちの協力も得られないか検討した結果。猟友会有志 9 人が「伊根町ジビエ会有限責任事業組合（通称；伊根町ジビエ会）」を立ち上げ加工処理施設を建築することになりました。</p> <p>平成 25 年 7 月に着工、11 月に完成しました。敷地は町有地で建設建築費は 7,875,000 円と備品購入費が 661,500 円で、財源は補助金 5,975,000 円で 70%を占めます。その内訳は国庫補助金（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金）4,268,000 円（50%）、府補助金（新山村振興等農林漁業特別対策事業費補助金）426,000 円（5%）、町補助金（伊根町農林業振興事業費補助金）1,281,000 円（15%）、残りの 30%にあたる 2,561,500 円を伊根町ジビエ会が負担しました。</p>			

平成 25 年 12 月から伊根町で捕獲された獣を肉（ジビエ）にして販売を開始しました。なお、いのししの肉は牛肉より高価で販売され、肉として出荷する時期は 11 月から 3 月まで（肉質確保のため）なので、需要に供給が追い付いていないそうです。

葉山町における課題は、40 頭前後の捕獲したイノシシは一部が自家消費されているのみで、ほとんどが埋設処理されています。これを食肉として流通させるには、そのための施設と各種法令をクリアしなければなりません。

また、食肉として流通させるためには獣であるイノシシの食肉としてのイメージアップが課題となります。

しかし、ペットの餌に活用するなどの工夫も必要ではないでしょうか。

さらに、「葉山で食肉として流通させるためには安定した捕獲数を確保しなければならない。」と言われますが、採算ベースを考えるのではなく、生物を殺してただ焼却したり埋めたりするのではなく有効に活用することを考えるべきではないかと思いました。